

研究課題名「Ph + ALL に対する同種移植後 TKI 投与の実態と意義」に関する 情報公開

1 . 研究の対象

本研究の対象者は、2002 年 1 月から 2022 年 12 月の間に、安城更生病院血液内科、江南厚生病院血液・腫瘍内科、豊橋市民病院血液・腫瘍内科、名古屋医療センター血液内科、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院血液内科、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院血液・腫瘍内科、または、名古屋医学医学部附属病院血液内科にてフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ球性白血病に対して初回の同種造血細胞移植を施行された診断時の年齢が 15 歳以上の患者です。

2 . 研究目的・方法・研究期間

研究目的：本研究の目的は、フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ球性白血病における同種移植後チロシンキナーゼ阻害薬投与の実態を明らかにすることです。さらに、同種移植後チロシンキナーゼ阻害薬投与と移植成績との関係からその臨床的意義を明らかにします。

研究方法：同種移植後チロシンキナーゼ阻害薬に関連する情報を収集し、同種移植後チロシンキナーゼ阻害薬が投与されている割合や移植成績への影響を解析します。

研究期間：実施承認日 ～ （西暦）2026 年 3 月 31 日

3 . 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、同種移植チロシンキナーゼ阻害薬の投与状況等
試料は用いません。

4 . 外部への試料・情報の提供

名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対照表は、各共同研究機関の責任者が保管・管理します。

5 . 研究組織

安城更生病院血液内科 澤正史

江南厚生病院血液・腫瘍内科 尾関和貴

豊橋市民病院血液・腫瘍内科 倉橋信悟

名古屋医療センター血液内科 飯田浩充

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院血液内科 西田徹也

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院血液・腫瘍内科 笠井雅信

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部 西脇聡史

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-744-2942

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部 西脇聡史

研究代表者：名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部 西脇聡史